

平成 30 年 中小企業の診断および助言に関する実務の事例Ⅱ : 解答用紙

本試験答案は、学習ガイドブック 6 頁の「本試験答案作成の注意点」に従い作成したものを提出ください。

受講番号(楷書で丁寧に書きください)						イニシャル				
1	8	2	0	1	7	1	6	(	M・W	)

採点欄
65

3Cの視点、上手く活用できていますね。  
さらに自社面から、強みに加え現状をまとめて述べていけるといいですね。

具体的な交流策、サービスで上手く述べられていますね。  
より多面的に述べれるといいですね。

第1問 (配点 25 点)

16

B社の現状は、①競合は、駅前	に立地するチ
ーン系ビジネスホテルであり、②顧客は、	
8割は高齢化が進む昔なじみのビジネス客で	
、2割は増加傾向にあるインバウンド客であ	
る。③自社は、商品面で1泊朝食付きを基本	
プランとし、施設面で古風な和室や芸術家	
による美術品の配置、販促面ではアロマシ	
ョンの不足がある。	

第3問 (配点 25 点)

18

B社は、宿泊客を対象に、①大型バスを活用	
した空港から旅館までの送迎サービスや、②	
城跡や名刹、商業施設等の観光案内サービス	
を行い、顧客関係性を強化し、インターネッ	
ト上での好意的な口コミを誘発していく。	

ターゲット、指摘できると良かったですね。  
できれば、自社の情報に見えるようまとめ方を工夫できるといいですね。

第2問 (配点 25 点)

15

B社は、和の風情を求めるインバウンド客向	
けに、①英語の堪能な従業員による外国語対	
応や、②苔むした庭園や、芸術家による美術	
品の写真、③過去に宿泊した有名芸術家の情	
報等を掲載し、新規顧客獲得を図っていく。	

第4問 (配点 25 点)

16

B社は、①ドラマ舞台めぐり需要に対し、舞	
台巡りプランや、周辺料亭の案内接客を行い	
、②地域の祭りでの宿泊需要に対し、山車引	
き体験を含めた宿泊プランを提供、予約時	
での夕食の有無の確認、等を行う、ていく。	

事例文のヒントの活用は、いいですね。あと、できれば具体的な  
イベント等に結び付けて施策、述べれるといいですね。